

製品安全データシート

硫酸カリウム

作成 : 2023年9月28日
改訂 : 2024年5月31日

● 項目1 化学品及び会社情報

化学品の名称 硫酸カリウム
会社名 PT TIMURAYA TUNGGAL
住所 Perkantoran Permata Senayan BlokD35, Jln. Tentara Pelajar, Jakarta 12210 Indonesia
担当部署
担当者(作成者)
電話番号 +62-21-5794-0809
FAX番号 +62-21-5794-0810
メールアドレス contact@timuraya.com
緊急連絡先番号

販売代理店 サンケミカル株式会社
住所 東京都中央区日本橋小伝馬町2番4号 三報ビルディング
電話番号 03-3661-6681
FAX 03-3661-7055
メールアドレス yano@sun-chemical.co.jp
HP <http://www.sun-chemical.co.jp/>

推奨用途及び使用上の注意
肥料

★ 項目2 危険有害性の要約

GHSの分類
物理化学的危険性: 分類できない
健康に対する有害性: 分類できない
環境に対する有害性: 分離できない

分類	内容
区分1~4	数字が小さい方が危険・有害性が高い。1(危険)>4(比較的安全)
区分に該当しない	数字で表示される区分より安全性が高い。
分類できない	分類に有効なデータが無く、有害なのか安全なのか、分らない。
分類対象外	この項目には無関係な製品。例えば、固体の製品では「自然発火性液体」の項目で、分類対象外になる。

- GHSのラベル要素 なし
- 絵表示又はシンボル なし
- 注意喚起語 なし
- 危険有害性情報 なし

● 注意書き

【安全対策】 特別な要求事項はない。

【応急措置】 吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
吸入した場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。
次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】	容器を密閉保管しておくこと。
【廃棄】	認定の産業廃棄物処理業者に委託して廃棄処分を行う。

項目3 組成及び成分情報	
化学物質・混合物の区別	工業純品
化学名又は一般名	硫酸カリウム
慣用名・別名	硫酸加里
化学物質を特定できる一般的な番号	
CAS番号	7778-80-5
成分及び濃度又は濃度範囲(含有率)	≥99%
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	1-454
GHS分類に寄与する成分	

▲ 項目4 応急処置

吸入した場合	吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吸入した場合、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚に付着した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
眼に入った場合	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	飲み込んだ場合、口をすすぐこと。 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
詳細な徴候及び症状は、項目11－有害性情報に記載する

応急処置をする者の保護

医師に対する特別な注意事項

毒劇物の場合、解毒剤 非該当

項目5 火災時の措置

消火剤	泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 周囲の環境に適した消火剤
使ってはならない消火剤	データ無し
火災時の措置に関する 特有の危険有害性	周囲の火災により蒸気が発生するおそれがある。 燃焼時、一酸化炭素と二酸化炭素が形成される。 硫黄酸化物が発生するおそれがある。

特有の消火方法 呼吸器の保護具を着用して消火活動を行う

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護手袋
安全グラス
保護具
熱や火災にさらされている場合、呼吸機器を身に着けること。

項目6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	物質に直接触れないこと。十分な換気を確保すること。 大量/密室で漏れた場合、避難方法を考慮すること。 汚染場所から離れる事。関係のない人を避難させること。換気をする事。 項目8を参照ください。
---------------------------	---

環境に対する注意事項

手袋、顔の保護具、密室での漏出時、呼吸器の保護具を着用すること。
適切な保護具は項目8を参照下さい。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を掬い取る。
土壌と水を汚さないようにする。
下水に流れないようにする。
ダストの発生を防ぐこと。

二次災害の防止策

▲ 項目7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気)

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、
保護具を着用する。
「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱注意事項

特別な要求事項はない。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

厳しく監視すること。容器は密閉すること。汚染された衣類は直ぐに脱ぐこと。
廃棄物を下水に流さないこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉保管しておくこと。

近づけてはいけないもの

熱、光、アルミニウム、マグネシウム、ナトリウム、アセチリデン

安全な保管保管包装材料

元の容器

▲ 項目8 暴露防止及び保護措置

許容濃度等

日本産業衛生学会(2005 年版)
ACGIH(2005 年)

未設定
未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。または換気を行うこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保護具

呼吸用保護具

呼吸器の保護具

手の保護具

手の保護具

眼の保護具

面の保護具

皮膚及び身体の保護具

防護服

特別な注意事項

項目9 物理的及び化学的性質

物理的状态

個体

色

白色

臭い

無し

融点・凝固点

1,069℃

沸点又は初留点及び沸騰範囲

1,689℃ at 1,013hPa

可燃性

燃えにくい

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データ無し

引火点

データ無し

自然発火点

データ無し

分解温度

データ無し

pH

固形時はなし (液体時:5%硫酸加里と95%水で、約 2.5)

動粘性率	データ無し
溶解度	110 g/リッター at 20°C
n-オクタノール/水分配係数(Log値)	データ無し
蒸気圧	データ無し
密度及び/又は相対密度	2.66g/cm3 at 20°C
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	

その他のデータ	
かさ密度	1,200kg/m3

● 項目10 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性 通常は安定。

危険有害反応可能性 ナトリウム、アセチリデンがあると爆発する恐れがある。
粉体状でアルミニウム、マグネシウムに近づくと熱反応がある

避けるべき条件
(静電放電、衝撃、振動など) ナトリウム、アセチリデン、熱、
引火点よりも温度が高い場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。
粒子状の場合、耐火、耐爆発の設備を使用する事。

混触危険物質 ナトリウム、、アセチリデン、酸化剤

危険有害な分解生成物 燃えた場合、一酸化炭素と二酸化炭素を発生させる。
その他 硫黄酸化物

★ 項目11 有害情報

急性毒性

曝露経路	基準	方法	値
経口	LD50		6.600mg/kg

皮膚腐食性/皮膚刺激性
データ無し

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
データ無し

呼吸器感作性又は皮膚感作性
データ無し

生殖細胞変異原性
データ無し

発がん性
データ無し

生殖毒性
データ無し

特定標的臓器毒性、単回曝露
データ無し

特定標的臓器毒性、反復曝露
データ無し

誤嚥有害性
データ無し

その他 多量に摂取した場合、消化器に影響がある。
産業衛生を遵守した取扱いをすること。

項目12 環境毒性情報
生態毒性

	基準	方法	値	期間	被検体	試験設計	淡水/塩水	値の決定
急性毒性 魚	LC50		680mg/l	96h	ファットヘッド ミノー			
急性毒性 無脊椎動物	EC50		890mg/l	48h	大ミジンコ		淡水	
魚に対する 慢性毒性								
長期毒性 無脊椎動物	NOEC							
長期毒性 藻、	IC50		2,900mg/l	72h	藻			
水生微生物 に対する毒	IC50							
	IC50							

残留性・分解性

データ無し

生態蓄積性

データ無し

土壌中の移動性

データ無し

オゾン層への有害性

データ無し

他の有害影響

▲ 項目13 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい破棄、又はリサイクルに関する情報

認定の産業廃棄物処理業者に委託して廃棄処分を行う。

項目14 輸送上の注意

国際規制

国連番号

非該当

品名(国連輸送名)

非該当

国連分類

非該当

(輸送における危険有害性クラス)

容器等級

非該当

海洋汚染物質

非該当

(該当・非該当)

MARPOL73/78附属書Ⅱ及び

IBCコードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

(該当・非該当)

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制がある場合の規制情報

その他

応急措置指針番号

非該当

項目15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化管法	非該当
安衛法	通知・表示対象物質 非該当
毒劇法	非該当
火薬類取締法	非該当
高压ガス保安法	非該当
消防法	非該当
化審法	既存化学物質
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
バーゼル法	第2条特定有害廃棄物等(0.1%重量%以上含む物)
外為法	輸出令別表第2の35の2項(0.1%重量%以上含む廃棄物)
	キャッチオール規制
港則法	

その他の適用される法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

項目16 その他の情報

安全上重要であるが、これまでの項目名に直接関係しない情報

引用文献

オリジナルMSDS
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE
2016年版 16716の化学商品

その他

注意:

- ・危険有害性の評価はかならずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・この製品安全データシートは、当社の製品を適切にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の取扱いを対象としたものです。
- ・本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。
- ・ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保障もするものではありません。また法令の改正及び新しい知見に基いて改訂されることがあります。

赤字	必須情報	★	リスクアセスメント必須事項
青字	可能なら記載する情報	●	ラベルに記載する情報
黒字	無くても良い情報	▲	安衛法ラベルの注意書きの項目
色分け	2019年改正JIS Z7252/Z7253		(但し、ラベルに全て載せる必要はない)